

5. 気温観測及び暑さ指数(WBGT)観測

(1) 調査方法

気温観測 観測地点：38 地点（うち、百葉箱 5 地点、WBGT 観測機器使用 9 地点）
期間：令和 4 年 7 月 1 日(金)～9 月 30 日(金)
観測間隔：10 分間隔の連続観測

暑さ指数(WBGT) 観測地点：9 地点（うち、簡易型機器 7 地点、置き型機器 2 地点）
期間：令和 4 年 7 月 1 日(金)～9 月 30 日(金)
観測間隔：10 分間隔の連続観測

1) 気温観測

① 使用機器

気温観測には、気温計（気温ロガー）を使用した。

気温観測機器は、長期間かつ人通りのある街中に設置することから、降雨に耐え得る（水中計測可）、直径 3cm、高さ 7mm、重さ 23g 程度の目立たないものを使用した。

表 5-1 使用機器（気温計）

機器名	外寸	備考
TidviT v2	直径 30mm、高さ 7mm、重さ 23g	気温観測機器（Onset 社）

② 設置方法

調査機器の設置場所は既設の街路灯または樹木とし、傷をつけないよう養生した上で、金属バンド等で設置した。設置高さは、歩行者等の通行障害とならないよう、2.3m 以上とした。

観測期間中は 2 週間～月に 1 度、データ回収及び点検を実施した。

また、時間帯によって気温計に直射日光が当たる地点については、直射日光を遮るカバーを取り付けた。カバーの上面には自然通風のための穴をあけ、熱を逃がすような構造とした。



図 5-1 気温観測使用機器

図 5-2 設置イメージ平面図



写真 5-1 設置状況（街路灯）

写真 5-2 設置状況（百葉箱）

写真 5-3 カバーの形状

写真 5-4 カバー取付状況

2) 暑さ指数(WBGT)観測

① 使用機器

暑さ指数（WBGT）観測は、WBGT 観測機器を使用した。簡易型 WBGT 計は、主に人通りのある街中に使用した。

表 5-2 使用機器（WBGT 観測機器）

機器名	外寸	備考
WBGT データロガー MODEL 401F	幅 1050mm ^{注1)} 、高さ 1500mm ^{注2)} 、奥行約 910mm	置き型 WBGT 計 (鶴賀電機株式会社)
無線黒球式熱中症指数計 TC-310	幅 60mm、高さ 112mm、奥行 33mm、重さ 220g	簡易型 WBGT 計 (株式会社タニタ)

注 1) 三脚のステー部分が伸びきっている場合の値である。

注 2) 三脚のエレベーター部分が最短である場合の値である。

② 設置方法

調査機器の設置方法について、置き型は直射日光の当たる場所に、ワイヤー及びおもりで固定した。簡易型は、既設の街路灯に傷をつけないよう養生した上で、金属バンドで設置した。また、置き型 WBGT 計は黒球の高さが 1.5m となるように設置し、簡易型 WBGT 計は気温観測と同じ 2.3m とした。

観測期間中は 2 週間から月に 1 度、データ回収及び点検を実施し、台風などの激甚な風雨が予測される場合は、事前に撤去し、天候回復後に再度設置した。

